平成23年11月9日

各 位

上場会社名　株式会社 インテージ
代表者　代表取締役社長 宮首　賢治
（コード番号　4326）
問合せ先責任者　取締役 工藤　理
（TEL　03-5294-0111）

平成24年３月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年５月11日に公表いたしました平成24年３月期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）の通期業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,262	3,163	3,149	1,659	165.04
今回修正予想(B)	36,649	2,687	2,641	1,410	140.24
増減額(B-A)	△1,613	△476	△507	△249	
増減率(%)	△4.2	△15.1	△16.1	△15.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	36,538	3,465	3,438	1,915	190.51

修正の理由

本日（平成23年11月９日）付「平成24年３月期第２四半期決算短信」でお知らせしましたとおり、第２四半期に入り、市場調査・コンサルティング事業は景況感の停滞時期を脱し、受注状況が大幅に改善したことにより前年同期に比べ増収増益となりました。しかしながら、医薬品開発支援事業につきましてはモニタリング業務が順調に売上を伸ばしている一方、データマネジメント・解析業務では新規案件の獲得が不調となり売上、利益ともに大きく減少いたしました。
この結果、第２四半期連結累計期間の業績は予想数値に対して売上高はほぼ同水準、利益は上回ったものの、前年同期に比べ減収減益となりました。
第３四半期以降の市場調査・コンサルティング事業およびシステムソリューション事業につきましてはほぼ計画どおりの業績を見込んでおりますが、医薬品開発支援事業におけるデータマネジメント・解析業務の売上が引き続き伸び悩み、下期も減収減益を予想しておりますところから、平成23年５月11日に発表いたしました連結通期予想を修正いたします。
医薬品開発支援事業につきましては、組織改変により営業力の強化を行い、合わせて事業再構築のためのてこ入れを図り、再度成長軌道に戻して参ります。
（注）上記業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上